エコライフＤＡＹ＆ＷＥＥＫ埼玉
２０２６（夏）

～ストップ！地球温暖化～



１　エコライフＤＡＹ＆ＷＥＥＫ２０２６（夏）結果

参　加　し　た　人　数　　**2,190 人**

※小学生 51 人、中学生 517 人、特別支援学校生 12 人と、そのご家族及び教職員など多くの方が参加しています！

削減した二酸化炭素の量　約 **12.7 トン**

※1 人当たりの削減量は約 5.8kg です。

ブナの木：約 1,156 本
（スギの木：約　908 本）
の一年間に吸収する
二酸化炭素量に相当

※１年間に吸収する二酸化炭素量は、ブナの木１本が約 11 kg（独立行政法人森林総合研究所調べ）、スギの木１本が約 14 kg（林野庁 HP）として換算しています。

２　集計結果

区　　分	参加した人数	削減した二酸化炭素量
小　学　校	184 人	974ｋｇ
中　学　校	1,827 人	10,801ｋｇ
特別支援学校	40 人	212ｋｇ
個人での参加等	139 人	737ｋｇ
合　　計	2,190 人	12,724ｋｇ

※小・中・特別支援学校の参加した人数は、家族・教職員も含みます。

※構成表の値は、小数点以下を四捨五入して計算しています。

３　エコライフ（夏）の推移

実施年	参加した人数	削減した 二酸化炭素量	１人当たり 削減量
2026	2,190 人	12,724ｋｇ	5.8ｋｇ
2025	3,122 人	16,677ｋｇ	5.3ｋｇ
2024	1,831 人	7,798ｋｇ	4.3ｋｇ
2023	2,990 人	12,325ｋｇ	4.1ｋｇ
2022	3,622 人	3,044ｋｇ	0.8ｋｇ

※2023 年（夏）より一週間単位の取組を集計に合算した為、二酸化炭素の削減量が例年に比べ大幅に増加しています。

４　参加者の感想・工夫点など

《小学生》

- 買い物をするとき、レジ袋をもらわなかった。
- 出かけるときは、水筒やマイボトルを持ち歩いた。
- 地場産野菜を選んで食べた。
- 食品トレーをリサイクルにだした。
- 出かけるときは自動車に乗らずに、徒歩・自転車・バス・電車を利用した。

《中学生・高校生・一般》

- 照明は、省エネ型の LED 照明を使用した。
- 冷蔵庫の食材をチェックし、買うものを決めてから買い物に出かけた。
- 宅配は１回で受け取った。
- 省エネ性能の高いエアコンへ買い替えた。
- 高効率給湯器を導入した。
- 太陽光発電設備を導入した（又は再エネ電力に切り替えた）

この取組をきっかけに、環境にも家計にもやさしいエコライフを続けていきましょう！